

平成28年度科学研究費助成事業 実績報告書（研究実績報告書）

1. 機関番号

1	4	6	0	3
---	---	---	---	---

2. 研究機関名

奈良先端科学技術大学院大学

3. 研究種目名

基盤研究(B) (一般)

4. 研究期間

平成25年度～平成28年度

5. 課題番号

2	5	2	9	0	0	3	4
---	---	---	---	---	---	---	---

6. 研究課題名

標的細胞中で発現しない非コードRNA遺伝子をトラップする手法の開発

7. 研究代表者

研究者番号								研究代表者名	所属部局名	職名
1	0	2	2	1	7	5	6	イシダ ヤスマサ	バイオサイエンス研究科	准教授
								石田 靖雅		

8. 研究分担者

[illegible]

9. 研究実績の概要

私たちの先行研究で用いたNMD抑制エレメントを改良し（RNAのレベルで形成される高次構造をより強いものにした）、トラップ・ベクター内のNEOの下流に組み込み、マウスES細胞を用いて遺伝子トラップを実施した。その結果、NEO部分とトラップされた遺伝子の融合型mRNAではNMDが回避されていることを確認することができた。さらに、トラップされた遺伝子の中に、従来よりも高頻度にlncRNA遺伝子（候補）が含まれることを確認することができた。平成28年度には、この完成した改良型ベクターを用いて重点的に遺伝子トラップを行い、トラップされたlncRNA遺伝子（候補）の発現パターンを解析した。既知遺伝子とは異なり、本研究で着目するlncRNA遺伝子には、関連するESTが存在しないことも多いため、米国NCBIのUniGeneデータベースなどを利用して、マウス体内における発現パターンを類推することは、予想通り難しかった。そのため、候補遺伝子ごとにPCR用プライマーを設計してRT-PCRを行い、発現部位を解析する必要がある。トラップされたlncRNA遺伝子（候補）の中には、RNAレベルの発現が確認できないものも存在した。トラップされたlncRNA遺伝子（候補）のうち、免疫系組織（胸腺、脾臓、リンパ節など）や神経系組織（脳や脊髄など）で特異的に発現するものを選び、定法に従いノックアウトマウスを作製する、という当初の予定であったが、これまでのところ、免疫系組織や神経系組織に高度に限局した発現パターンを示すlncRNA遺伝子（候補）がトラップされたES細胞クローンは樹立されていない。今後はさらに遺伝子トラップ実験を追加して、そのようなES細胞クローンの樹立を目指す必要がある。

10. キーワード

- (1) 遺伝子トラップ (2) ES細胞 (3) 長鎖非コードRNA (4) NMD
- (5) (6) (7) (8)

(注)・印刷に当たっては、A4判(縦長)・両面印刷すること。

(1 / 4)

11. 現在までの進捗状況

(区分)

(理由)

28年度が最終年度であるため、記入しない。

12. 今後の研究の推進方策 等

(今後の推進方策)

28年度が最終年度であるため、記入しない。

(次年度使用額が生じた理由と使用計画)

(理由)

28年度が最終年度であるため、記入しない。

(使用計画)

28年度が最終年度であるため、記入しない。

13. 研究発表（平成28年度の研究成果）

〔雑誌論文〕 計（1）件／うち査読付論文 計（1）件／うち国際共著論文 計（0）件／うちオープンアクセス 計（1）件

著 者 名	論 文 標 題				
Kotoku T, Kosaka K, Nishio M, Ishida Y, Kawaichi M, Matsuda E	CIBZ Regulates Mesodermal and Cardiac Differentiation of by Suppressing T and Mesp1 Expression in Mouse Embryonic Stem Cells				
雑 誌 名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著
Scientific Reports	有	6	2016	34188	-
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）					
10.1038/srep34188					
オープンアクセス					
オープンアクセスとしている（また、その予定である）					

〔学会発表〕 計（1）件／うち招待講演 計（1）件／うち国際学会 計（0）件

発 表 者 名	発 表 標 題	
石田靖雅	PD-1とがん、そして自己と非自己の識別	
学 会 等 名	発表年月日	発 表 場 所
第104回 日本肺癌学会関西支部学術集会（招待講演）	2016年07月16日	薬業年金会館、大阪府大阪市

〔図書〕 計（0）件

著 者 名	出 版 社	
書 名	発行年	総ページ数

14. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

〔出願〕 計（0）件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別

〔取得〕 計（ 0 ）件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別
				出願年月日	

15. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計（ 0 ）件

国際研究集会名	開催年月日	開催場所

16. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

（ 1 ）国際共同研究： -

17. 備考

--